

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりんのあくびkidsとくあん			
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日		～	R7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	7年 3月 1日		～	7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	7年 4月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている事	大型教具で遊べるスペースと座位活動できるスペースを両立したり、大型教具を立てかけることで平面で広く使える活動を行っている。	児童発達支援・放課後デイで集団活動を分けたり、違った活動を同時展開する等で広さを生かしていく
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている事	同じ集団活動や小集団活動が続かないよう日々プログラムを考えている	決まった職員で考えるのではなく、全体で考えることで活動の幅を広げていく
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対し発信する	定期的にブログやインスタに、どの様な取り組みをしたかを発信を行ったり、毎月お便りや活動カレンダーを配布することでどの様な活動なのかをお知らせしている	子どもの表情やどの様に過ごしているのかを保護者様にLINEを通して個人の写真を送るなど、デイでの活動の様子がより分かりやすくなるような取り組みを行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない	開所して間もないのもあり地域でのコミュニケーションが取れていない為現状難しい。	イベントを通して地域との関わりを増やしていく中で、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会を増やして行けるような取り組みを行っていく。
2			
3			